



私のひとりごと

「ビールが無ければ・・・」

今年も組合員どうしの親睦を図る、嶺南地区のスポーツ大会が開催された。私が組合員として加入している団体に、一般社団法人全国建築組合連合会があり建築業に従事するほとんどの人が所属する。私は福井県なので、福井県建築組合連合会になる訳だが、その中でも福井県は 5 ブロックに分かれ、その1つが嶺南ブロックである。さらに嶺南ブロックは敦賀から高浜までの 8 組合に分かれ、私たちはその中の美浜組合となる。

このスポーツ大会の競技は、以前ソフトボールであったが、組合員の高齢化が進み怪我の心配や人が集まり難い事もあり、近年はソフトバレーに変わっている。とはいえ大会もぶっつけ本番という訳にはいかず、事前に練習する訳であるが、見た目よりも難しくハードなスポーツである。先日の練習日の事。同じ体育館で練習しているシルバーチームから試合を申し込まれた。我が美浜組合も高齢化が進んだとはいえ、30代から50代後半のメンバーで、シルバーチームから見れば遥かに若者といえる。勢いで申し出を受けて立ったが、いざ試合となれば普段の練習で見せている笑顔は消え、肩に力が入りカチンコチン！ で、結果は「やっぱり！」の惨敗である。意気消沈で「いい勉強させて頂きました」と頭を下げるしかなかった・・・。私なりにその事態を冷静に分析すれば、美浜組合に足りなかったものは気合や根性ではなく、まして練習量でもない。たった一つ足りなかったものは「アルコール」である。何故なら、大会での「優勝」という結果が全てを物語っているからである。



美浜組合は他の組合と違い、大会終了後、温泉旅行に行くのが恒例となっている為、関係業者から差入れが届く。大会当日も缶ビール 11 箱が差し入れられ、缶数にすれば 264 本である。17 名程の選手団が早朝よりバスに乗り込み、会場までの約 1 時間の道中と試合までの待ち時間でほとんど飲みきってしまうのだ。そのおかげ？で、リラックスしチームワークよく、あれよあれよと勝ち進み優勝してしまった。試合前に「早く負けて温泉に行こう！」と申し合わせをするのだが、出るからには勝たなければと、職人気質の生真面目さと言うか、融通が利かないと言うか、どうでもよいところに律儀な人が多いようである。

なにはともあれ、無事大会も終了し優勝カップと一緒に、サンタクロースの荷物の様にビールの空き缶が入った袋を背負い会場を後にするのだが、その頃にはすっかり酔いも冷め、周りの目線が気になってくる。真面目に大会に参加されている人達には大変申し訳ないが、年に一度の事とお許しをいただきたい。

たかがビールと侮るなかれ。昨今若者のビール離れなども聞かれるが、しかし私たち世代のエネルギーと、円滑なコミュニケーションの潤滑油代わりには欠かせないと改めて思った次第である。

ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき・・・

あーがしう
ございました!!

